

1 / 1 3 読書感想文コンクールに72点が入選

名 寄市小中学生児童生徒読書感想文コンクールに137点の応募があり、最優秀賞9点、優秀賞18点、佳作45点あわせて72点が入賞し、表彰式が市役所名寄庁舎で行われました。

式には、入選した生徒、児童16人が出席し、間所図書館長から一人ひとりに表彰状と副賞が手渡されました。

入選者を代表して大西亜里紗さんが「これからも多くの本を読んで成長していきたい」と挨拶しました。



▲表彰状が授与される受賞者

1 / 1 9 住みよいまちづくりを目指し町内会長交流研修会

町 内会連合会（中村雅光会長）主催の町内会長交流研修会が市内ホテルで行われました。

研修会は、北海道町内会連合会から米津由利子氏を講師に招き「安心・安全・支えあいまちづくりと町内会活動への期待」をテーマに講演会が行われ、町内会だからできる生活密着の絆づくりが大切であることなどがと述べられました。そのほか、地域共通課題への対応や解決に向けた方策について意見交換が行なわれました。



▲講演会の様子

1 / 2 2 ホワイトマスター授賞式 西12区町内会が受賞

利 雪親雪に関わる活動で他の模範となる活動をしている方に贈られる「2010年度ホワイトマスター」の授賞式が北国博物館で行われ、西12区町内会に贈られました。

西12区町内会は、育成会や長寿会を含めた町内会の行事として親雪週間を設け、多くの会員がアイスクャンドル、ミニ雪像などを率先して制作し、多くの市民の目を楽しませるなど、名寄の冬を楽しく暮らす取り組みが高く評価されての受賞となりました。





1/7, 10 平穏を願い名寄消防出初式

平成23年の消防出初式が風連・名寄でそれぞれ行われました。7日の消防署風連出張所前には、消防署職員、風連消防団員など73人が出席し、分列行進などが行われました。また、10日の西3条通りでの式には消防署職員、名寄消防団など関係機関・団体など約230人が出席しました。

観閲に続き一年の平穏を願って梯子のり（登梯・とてい）が行われました。4人の団員がそれぞれ梯子に登り、軽やかな身のこなしによる技の披露に訪れた観客から拍手が送られていました。



▲名寄消防出初式での登梯（とてい）

1/9 感謝の気持ちを胸に—成人式—

23年名寄市成人式が市内ホテルで同実行委員会（吉岡竜志実行委員長）により行われました。今年の成人対象は364人で、式には220人が出席。吉岡実行委員長による開式の辞、大平隆太さんによる市民憲章の朗唱、藤原教育長、加藤市長のあいさつに続き、新成人を代表し田中仁樹さんにより成人としての決意など誓いの言葉が述べられました。

式典には、晴れ着姿の参加者で会場は華やいでいました。一方、送迎の保護者からは、会場入りするわが子の成長をかみしめている様子が見られました。



▲二十歳の門出を祝う成人式

1/10 スキー・冬の楽しさを伝える方法を学ぶ

スーパースキー研修in名寄（教育委員会主催）がピヤシリスキー場で行われ、市内外から学校教諭・スキー指導者ら18人が参加しました。

プロスキーヤーの児玉毅氏と北海道スノースポーツミーティング実行委員長の森脇俊文氏を講師に招き、午前の部・午後の部に分かれて実技指導が行われ、受講者は子ども達にスキーや冬の楽しさを伝えるためのレッスン方法や大集団でのレッスン方法、雪上での基本的な指導技術などを学びました。



実技指導の様子